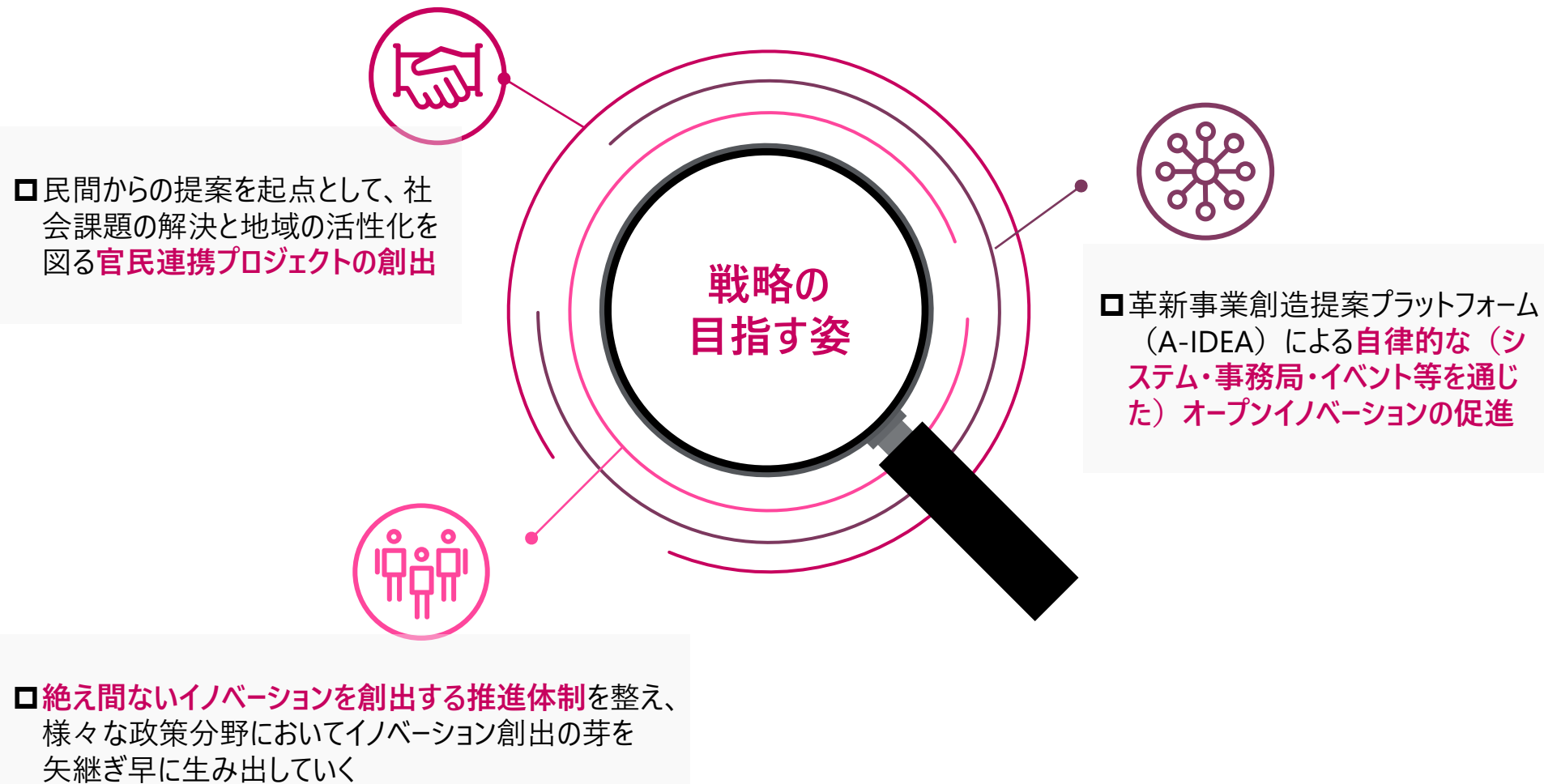


議題 2 革新事業創造戦略のフォローアップについて (協議)

革新事業創造戦略のフォローアップの狙い

2022年12月の戦略の運用開始から3年目をむかえるにあたり、改めて戦略の目指す姿に立ち返り、現状の成果と課題を分析し、戦略のフォローアップを実施。社会課題の解決と地域活性化をより一層加速させる体制構築を目指す。



「ソーシャルイノベーション創出支援」体制の強化等

2025年度は、「ソーシャルイノベーション創出支援」体制を強化するコンセプトのもと、①STATION Aiとの連携、②市町村の課題解決支援、③社会実装支援強化の3つの方向性にて施策を実施する



①STATION AiへのA-IDEA事務局の設置と機能強化

イノベーションPJとSTATION Aiとの連携強化・ソーシャルイノベーションの創出支援強化を目的に、Web上に構築した革新事業創造提案プラットフォーム（A-IDEA）に加え、**STATION Ai内にA-IDEA事務局を設置**し、リアルとバーチャルを融合した拠点形成を図る。

イメージ図

A-IDEA事務局の役割

A-IDEA事務局の整備



革新補助金採択事業者・
各イノベーションPJ個別企業



A-IDEA事務局



A-IDEA会員



STATION Ai
STATION Ai入居・来訪企業

① 革新補助金・官民共同PJから生まれたソリューションの社会実装支援

- 各イノベーションプロジェクト・革新補助金採択企業等とのハブ。プロジェクトの取組状況等の紹介のほか、連携希望事業者と各イノベーションPJ等を繋ぐ。
- 革新補助金・官民共同PJの社会実装支援機能を担い、プロジェクト進行に係るアドバイスや協業先を探索。一過性ではなく、継続的にフォローアップを実施することにより社会実装を支援。

② A-IDEA会員への社会課題解決サポート

- 社会課題解決に資する官民連携PJに対するアドバイス、各種相談・支援施策の情報の提供、A-IDEA企業とのマッチング。
- A-IDEA会員のアイデアや技術シーズ、市町村の課題や支援施策、その他社会課題解決事業を推進する事業者の発表する機会等を提供。

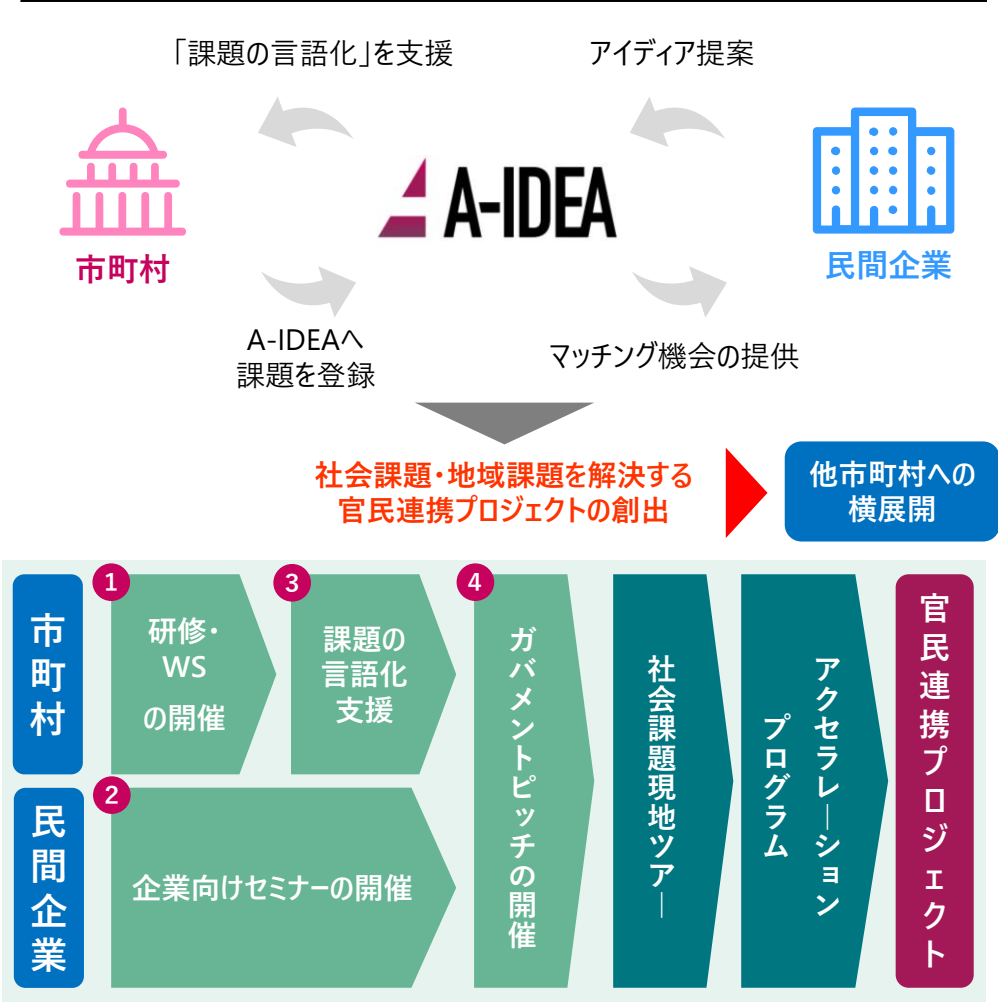
③ A-IDEAの周知の徹底

- STATION Ai 開催のセミナー等への積極的な参加やSTATION Ai 内でのA-IDEA発プチ企画の定期的な開催など、入居企業等にA-IDEAの周知、登録・活用の働きかけを行い、A-IDEAの活性化に繋げる。

②市町村が抱える社会課題・地域課題を解決するイノベーション創出支援

県内全域にわたるイノベーション・エコシステムの形成を図るためには、様々な社会課題・地域課題に直面している市町村の役割が重要である。そのため、市町村が抱える社会課題・地域課題を発掘し、市町村と民間企業による官民連携プロジェクトの創出に向けた取組を実施する。

イメージ図



2025年度の実施内容

- ① 市町村職員に対する研修・ワークショップの開催
 - 市町村職員などを対象に、官民連携に係る知識・ノウハウの習得や他市町村との交流を目的として、現地とオンラインを交えた研修・ワークショップを開催。
- ② 民間企業に対する「官民連携」をテーマとしたセミナー
 - 民間企業を対象に、官民連携による新ソリューション・サービスの創出に役立つ知識・ノウハウを提供し、双方のマッチング機運を高めるためのセミナーを開催。
- ③ 市町村が抱える社会課題・地域課題の言語化（見える化）支援
 - 社会課題等について民間企業の視点で内容を整理し、民間企業が関心を持つ表現に解像度を上げる「課題の言語化支援」を実施。
 - 言語化した社会課題等をA-IDEA等へ掲載し、市町村と民間企業とのマッチング創出を支援。
- ④ ガバメントピッチによる民間企業への展開
 - 言語化した市町村の社会課題等を発表するガバメントピッチを開催。

方向性③イノベーションプロジェクトの社会実装に向けた支援体制の強化

資金調達や人材確保、販路が開拓できないことに起因し、**成長軌道に乗る一歩手前で頓挫する課題を解決するため**、資金調達やネットワーク等の**最適なリソースの組み合わせを実現するための調査検討**を行う。

イメージ図

2025年度取組内容



- 2025年度取組内容
- ① ソーシャルイノベーション創出に資するソリューションの社会実装促進に向けた調査
- 多様な資金調達（インパクトファイナンス等）や、県内外のネットワーク形成による連携体制の構築等、国内外の先進事例調査等を実施。
 - この地域の現状や全国的な取組の流れを踏まえ、ソーシャルイノベーションに携わるステークホルダー（行政、事業会社、金融機関、投資家など）にヒアリングを実施。
 - 調査結果を踏まえて、立ち上がったプロジェクトを前進させるための環境整備（＝出口戦略）の取組強化について検討。
- ② ソーシャルイノベーション創出を支援するネットワーク形成に向けたイベントの開催
- 県内外の金融機関や事業会社等に対して、調査結果や参加者の取組状況を共有し、イノベーションプロジェクトの社会実装に向けた多様なファイナンス手法や社会課題解決に意欲を持つ関係者とのネットワークを構築するイベントを開催。